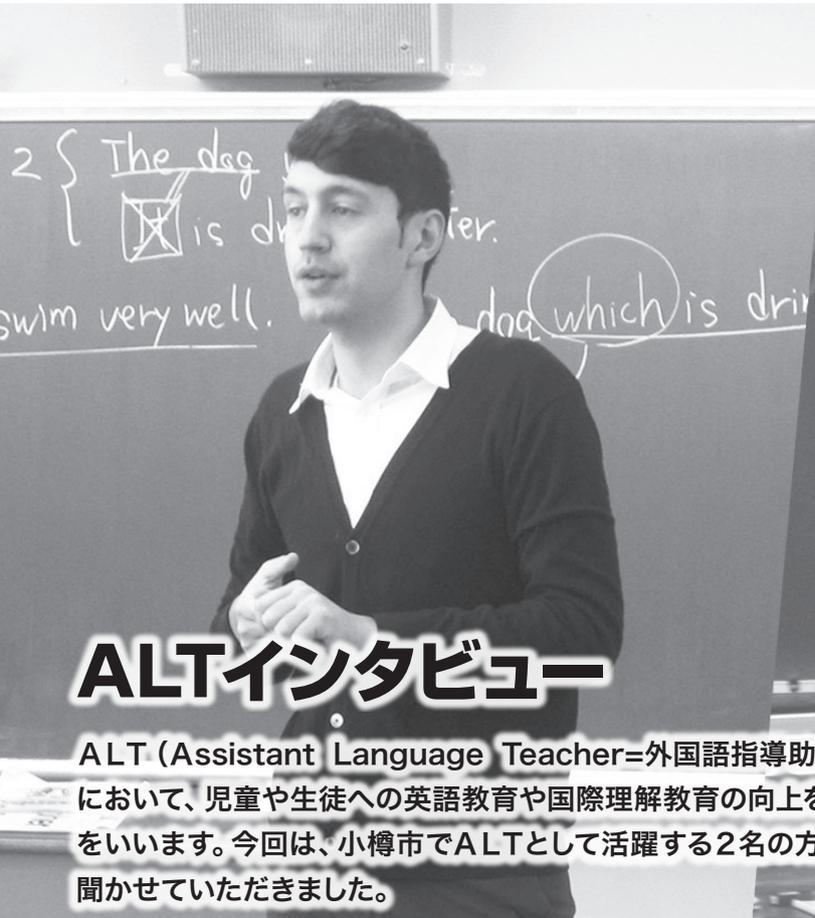


はづかっく

2015年2月 [第25号]



ALTインタビュー

ALT (Assistant Language Teacher=外国語指導助手) とは、小学校や中学校などにおいて、児童や生徒への英語教育や国際理解教育の向上を目的に配置されている外国人をいいます。今回は、小樽市でALTとして活躍する2名の方に男女共同参画などについて聞かせていただきました。



はづかっく
男性と女性という
枠を越えた仲間がつくる
情報網という意味です。
PAL (仲間)
NET (ネットワーク)

ブレイデン・ハーブラウさん

(ニュージーランド出身)

小樽は古い建物が多くとても美しい町です。赤岩の海岸線をハイキングしたり、埠頭で本を読んだりして楽しんでいます。日本の中学生は母国の中学生より努力するように思います。ただ、自分の意見を発言したがる傾向があり、それが母国の中学生と違うところですね。日本の学校のクラスはとても家庭的な雰囲気があります。ニュージーランドには固定的な性別役割分担意識がないため、女性は出産後も仕事を続け、男性が子育てをする場合もあります。日本は集団性がありますが、私たちは個性が強い。また、母国では家庭を第一に考えます。日本人の会社を第一に考えるのとは逆ですね。



サラ・ロシャットさん

(イギリス出身)

小樽はとてもエキゾチックな町で、大変気に入っています。私が小・中学生の頃住んでいたスイスでは、学年進級テストの学力に応じてクラスが変わりますが、それは生徒にとって自分自身を変えるチャンスにもなっています。私の母は私を産んでからも仕事を続けました。スイスでは出産後14週間は80%の給料が支給されます。子どもを出産後、収入の多い方が仕事を続けるのが普通で、父親が子どもを育てることもあります。日本では男女それぞれに定められた役割が多すぎるように感じます。「女のくせに」と言う社会的慣習があるところがイギリスと違っていています。

特集

☆働き方を見直しませんか？

ワーク・ライフ・バランス

☆人間関係で悩んでいませんか？

それって精神的暴力かも？

働き方を見直しませんか？ ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、一人一人が望む自分らしい生き方ができる社会の実現にとって必要不可欠です。ここでは、女性と男性、それぞれを取り巻く現状と課題について考えてみましょう。



男性の仕事と暮らし

●男性の働き方はどうなっているの？

一週間の労働時間を男女別に比較すると、男性は長時間労働、女性は短時間労働が多く、週に60時間以上働く男性は、30代と40代の子育て世代が多くなっています。

結婚相手に求めるものとして、男性は「容姿」や「家事能力」、女性は「経済力」が多いですが、こうした男女間の意識の違いも男性にとっては負担になっているかもしれません。

●男性の家事・育児参加はどうなっているの？

仕事と子育ての両立支援制度を利用したいと考えている男性は3割程度いますが、育児休業取得率（平成25年）は、女性83.0%に対して男

女性の就業をめぐる状況

●女性の働き方はどうなっているの？

年齢層で日本の女性の労働力率を見ると、20代後半と40～50代という二つのピークを持つ、いわゆる「M字カーブ」を描いています。これは、結婚・出産によって一旦離職し、子どもに手がからなくなつた50歳前後で再就職することを示しています。

第1子出産を機に離職する女性は6割に上り、日本の女性が、仕事と家庭の二者択一を迫られている現状が伺えます。

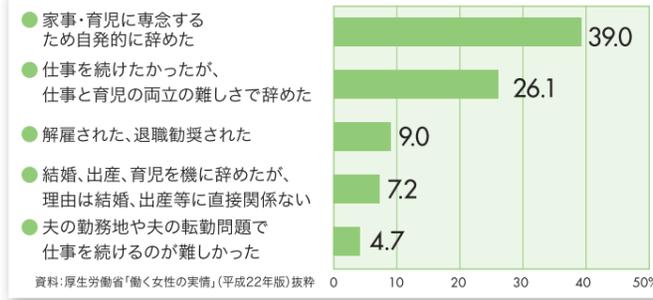
●一旦退職すると…

正社員として再就職するのは難しい現実があります。就業者全体のうち、女性以上はパート等の非正規労働者です。

働者で、昇進・昇給の機会も限られます。管理職に占める女性の割合は10%程度で、欧米諸国の30～40%と比べ、際立って低くなっています。

女性の活躍を促進することは、企業や社会全体を活性化することも、女性自身の幸せにもつながるものです。

妊娠・出産前後に退職した理由（女性正社員）



業割合が高い傾向があると言われています。

子育て期の男性に偏っている長時間労働を見直し、誰もが自ら希望するバランスで仕事と生活（家事・育児など）を展開できるように、社会全体で工夫していくことが求められています。



仕事と子育てを両立したいパパにおすすめの情報インターネット上にありますので、ご利用ください

「父親のワーク・ライフ・バランスハンドブック」

（平成25年度 厚生労働省委託事業）
http://www.ikumen-project.jp/

仕事も子育ても楽しもう！



仕事と家庭を両立して活躍されているご夫妻を紹介いたします。
今回は、Honda Cars北海道 南小樽店勤務の古舘一真さん（ふるだてかずま）さん取材させていただきました。
他社に勤務している妻・真代さんと3歳の子どもの3人暮らしのご家族です。
（取材後、2人目のお子さんが誕生されました。おめでとうございます。）

ご夫妻ともに正社員として活躍されている共働き世代。仕事と家事や育児との両立はどのようにされているのでしょうか？

育児や家事の役割分担はありますか？

自動車販売の営業のため、勤務時間が不規則です。体力仕事は自分で、子どもの寝かしつけは妻ですが、それ以外のことは、いつもできる方が主体的に行い、足りないことはお互いに補い合いながら、

仕事か休みの日はどのようになっていますか？

二人の休日は合わないの、休みのほうが育児のほかに料理、洗濯、掃除などを引き受けています。子育てに関われる今を大切に、

数です。

夏休みなどの休みは、家族旅行をするなど存分に楽しむようにしています。また、周りには、同じように育児や家事に積極的に関わりたいから、仕事と家庭をバランスよく両立している友達が多く、家族同士の交流が続いています。

調理師免許を取得したのですが…

両親も共働きで、父は家事全般をこなし、母から「何でもできるようにしておいた方がいいよ」と言われて育ちました。役に立つだろうと思って調理師免許を取得し、その腕を生かしながらお金を貯めました。そのお金でニュージラランドに滞在しながら、スノーボードを楽しんだりしました。

仕事と育児の両立を考えている方へのアドバイス

両方100%は無理なので、その時どちらに力を入れるべきか考え、ある程度は力を抜いて無理しないことが大切です。家族など周囲の協力が可能であれば、最大限活用するとよいと思います。

会社の子育て支援制度について

産前産後休暇、育児休業、時短勤務制、時間外労働免除があります。既婚者13名のうち共働きは6名で約半



「Honda Cars 北海道 南小樽店」の皆さん



① 気付きのチェックをしてみましょう!!

パートナーとの関係 ~DV(ドメスティック・バイオレンス)~

- パートナーの言うことは絶対(間違っていると思っても言えない)
- パートナーが帰ってくると緊張する
- 子どもがパートナーの気に入らないことをすると焦る
- 性生活中、自分から断ることができない
- パートナーの言動の理由を自分にばかり探そうとする
- 「自分がどう思うか」より「パートナーがどう思うか」に神経をすり減らす



職場・学校などでの関係 ~パワー・ハラスメント~

- ミスを人前で強い口調で叱責される
- 「バカ」「のろま」など、屈辱的な言葉で叱責される
- 挨拶しても、無視され、会話をしてくれない
- 必要な情報や指示を与えてくれない
- 無理な仕事量、又は、能力や経験に見合わない業務を課される
- 職場全体の食事会や飲み会に誘われない



子どもとの関係 ~子どもへの虐待~

- お前なんか生まれなきゃ良かったのと言う
- 他の子はできるのに、お前はダメな子と言う
- をしないとひどい目にあうなどと脅す
- いつも夫婦げんかを子どもの前で繰り広げる
- 何か話しかけられても意図的に無視する
- 普段無視しているのに、怒るときだけ一方的に怒鳴りちらす



! これらのチェックリストはほんの一部です。当てはまる項目があっても、直ちに被害者、加害者とは言えません。しかし、この言動が、“精神的暴力”に成り得るということを知って、相手と自分との関係を見つめ直してみましょう。

悩みや不安を感じたら、お気軽に相談してください。

小樽市女性相談室 ☎22-6010 (相談専用)

平日9:00~17:20 ✉ kyodo-sankaku@city.otaru.lg.jp



人間関係で悩んでいませんか？

それって**精神的暴力**かも？

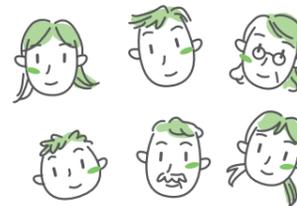
人が人として生きるためにひとりでガマンしないで!!

● 「暴力」はなぜ悪いのでしょうか？

暴力は、基本的人権を侵害するもので、暴力を受けた人は「安心」「自由」「自信」を喪失し、“生きる力”を奪われてしまいます。

たとえば、脅威を感じている人との関係で

- ①「我慢しないと何を言われるだろう」という不安は、『安心』が侵害されています。
- ②「自分は、本当はそうしたくない」という思いは、『自由』が侵害されています。
- ③「どうせ相手を拒否する力は自分がない」という思い込みは、『自信』が奪われています。



大人も子どもも大切なのは

● 精神的暴力とは？

「DV(ドメスティック・バイオレンス)」「パワー・ハラスメント」「セクシュアル・ハラスメント」「児童虐待」「いじめ」全てに、精神的暴力が潜んでいます。

精神的暴力がとても根深く厄介なのは、当事者が気付かないところで被害者・加害者を作っていることです。

特に被害を受けている方は、「このつらい現状は自分が悪いからだ」と思い込み、被害者としての自覚を持ってないこともあります。



● 精神的暴力が引き起こす「心」や「身体」への影響とは？

- ①自分はダメな人間、弱い人間と思い込むことで、自己肯定感をなくしてしまいます。
- ②自分より弱い人間にはけ口を求めてしまい、子どもへの虐待やいじめへと向かう(負の連鎖が生まれる)こともあります。
- ③うつ病など、心の病気を発症しやすくなり、最悪の場合、自殺願望へと向かうこともあります。

まず、この現状に「**気付くこと**」が重要です

小樽市男女共同参画セミナーを開催! 「自分力を高め、一歩を踏み出そう!」

第1回

平成26年9月12日(42名参加)

「おばちゃん目線で見える社会の問題」 ～みんなハッピーに暮らすには?～

講師:谷口 真由美さん (大阪国際大学 准教授)

「おっさん政治」に嫌気がさして立ち上げた「全日本おばちゃん党」代表代行でもある先生による、政治や社会のおかしいところに「おばちゃん目線」と軽快な関西弁でツッコミを入れた講義と、「みんなハッピーに暮らすには?」をテーマにグループ討議を行いました。

「男(おっさん)が悪い論」では世の中は変わらないので、おばちゃんも自立して様々な役割や責任を担うこと、

「敵と味方」ではなく、お互いの言い分を冷静に判断することが大事であることを、お笑いたっぷりの中で学びました。



第2回
第3回

平成26年9月26日、10月3日(延47名参加)

「プレゼンテーション能力をみがこう!」 ～「的確に伝える力」を身に付けませんか～

講師:武井 昭也さん (札幌国際大学 教授)

プレゼンテーションとは、限られた時間の中で相手に情報を伝え、相手を説得することです。技術的なポイントは三つ、①相手を分析すること、②何を言いたいのか簡潔に、③分かりやすく見せることですが、最も大切なことは「伝えたい自分の気持ち」であることを学びました。

第3回では4人の参加者からプレゼン発表があり、1週間の短い時間に準備して、意欲的にチャレンジする姿とプレゼン内容が素晴らしく、大きな刺激を受けることができました。人前で話することに少し自信が持てるようになったセミナーでした。

第2次小樽市男女共同参画基本計画

計画期間:平成25年度～34年度

この計画は、男性も女性もそれぞれの人権が尊重され、自分らしく生き生きと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指す、10年間の行動プログラムです。

市民、企業、民間団体、市が連携し、協働でこの計画を推進します。

ワンポイント基本計画

男性にとっての男女共同参画とは?

男女共同参画社会は、多様な生き方を尊重し、全ての人があらゆる場所で活躍できる社会であることから、男性にとっても暮らしやすい社会です。男女共同参画社会を実現するためには、女性側からだけでなく、男性側からの推進が不可欠です。

男性を取り巻く現状

●男性の長時間労働は相変わらず多い

男性は長時間で働く人が多く、女性は短時間で働く人が多い。

●育児に参加したい男性は結構多い

男性の約3割は、育児休業制度や育児のための短時間勤務制度の利用を望んでいる。

●男性は、家事・育児に参加できていない

日本の男性の家事・育児に費やす時間は、1日当たり約1時間で世界的に見ても最低の水準である。



(出典:内閣府男女共同参画局HP「男性にとっての男女共同参画ポータルサイト」)

男性の長時間労働を見直し、育児、介護、地域活動等に男性が参画できるよう環境整備を進めるとともに、男女共同参画の理解に向け、男性に対する積極的な働きかけが必要です。

小樽認知症の人を支える家族の会

代表 源九 美津枝さん

超高齢社会を迎えた日本では、認知症の方への関心が高まっています。小樽市では民間団体「小樽認知症の人を支える家族の会」が長い間活動しています。

会の発足は昭和62年。活動は2か月に1回実施する認知症介護相談会をはじめ、年3回の講演会や会報の発行などで、会員約150名のボランティアで成り立っています。相談会には様々な相談が寄せられます。「訪れた方の中には、話を聞いてほしい、受け止めてほしいという方も多くいらして、私たちの役割はこのようなご家族の負担を少しでも軽くしてあげることもあります」と、会長の源九さんは語ります。

活動の中でも、厚生労働省が推進する「認知症サポーター養成講座」やこの講座の講師育成のための「キャラバンメイト養成講座」は、会の中心的な仕事です。認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」のことで、これまで市内の町内会や学校など、多くの場所で実施してきました。小学校3年生に向けた講座では、「うちのおじいちゃん

と同じだ」などの発言があり、子ども目線での理解の仕方があると言います。認知症の方との接し方にはコツがあり、それが分かるとその方を「かわいい」と感じ、支える家族の方の希望や喜びにつながります。高齢化が進む小樽で一人でも多くの方が認知症について理解をして、みんなが安心できる町にしたいと日々活動しています。



市内の小中学校で行われた「認知症サポーター養成講座」

連絡先 小樽認知症の人を支える家族の会事務局
0134-22-0896(菊地)

キラリ☆グループ 紹介

男女が互いに認め合い、多様な働き方や生き方を選択できる社会の実現に向けて「小樽市男女共同参画推進協議会」の皆さんは様々な活動をしています。

協議会の設立は平成3年。会員は、市内の5団体と個人から構成されます。小樽初の「女性史」を発刊したほか、例年の事業として、研修会や他都市への視察交流、そして小樽市と共催の講演会開催などを行っています。講演会では、旬な話題や講師を選び、小樽経済センターを会場に、男性を含めた多くの市民の方々に来ていただけるよう企画しています。これまでに旭山動物園の坂東元園長や作家の佐川光晴氏、フリーパーソンナリエイの石井雅子氏をお招きしました。「高校生の就職支援について」をテーマに行った意見交換会では、商業高校と工業高校の先生に貴重なお話を聞くことができました。会長の山本和光さんは市内の経済団体から参加したのが活動のきっかけで「世代によって男女共同参画の考え方は違うけれど、同じ人間として話をすれば分かる。様々な意見を出し合い、協力して進めていきたい」と語ります。また、副会長の嶋田知子さんは、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を根底におき、女性も経済的に自立し、誰もが健康で豊かな生活が送れる社会を目指して頑張りたい」と意欲的です。時代が変わる中、小樽に根をおろし、地域の事情に合わせながら、男女共同参画社会の実現に向けて歩みを進めています。

小樽市男女共同参画推進協議会

会長 山本 和光さん

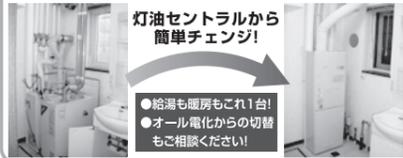


就職担当の高校の先生と「高校生の就職支援について」をテーマに意見交換

連絡先 小樽市男女共同参画推進協議会
0134-22-5904
(小樽市生活環境部男女共同参画課内)

天然ガスのECOジョーズ®に替える人 増えてます。

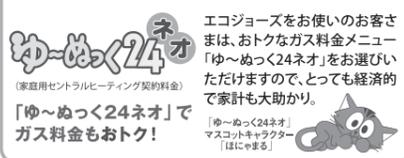
サイズがとってもコンパクト!



灯油セントラルから簡単チェンジ!

- 給湯も暖房もこれ1台!
- オール電化からの切替もご相談ください!

ガス料金メニューがおトク!



「ゆ〜ぬつく24ネオ」でガス料金もおトク!

お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ

北のくらし、もっとできること
KITAGAS
北海道ガス(株)小樽支店
TEL.0134-24-0556
〒047-0021 小樽市入船4丁目33番1号
FAX.0134-29-2207



臨時ゴミの収集運搬は おまかせください

- 事業系一般廃棄物 産業廃棄物
- 引越しのときに 出る粗大ゴミ
- 大掃除のときに 出る粗大ゴミ
- 家具・建具などの 処分



小樽市許可第17号収集運搬業者
(株)クリーンサービス 33-2633
FAX33-8937 小樽市天神2-8-1

大切なあのひとへの贈り物に。

—ロマンの街に「おいしさの歴史」を刻みます—

洋菓子・喫茶の **あまとう**

本店 小樽市稲穂2-16-18(都通アーケード街)
☎(0134) 22-3942

小樽市色内1-1-12(中央バス運河ターミナル内)

運河店 ☎(0134) 31-0141

札幌店 札幌市中央区大通西3(大通ビル1F)
☎(011) 233-1777

小樽サブレ **マロンコロン**



「屋形船で小樽港内を遊覧」

知る人ぞ知る。小樽には北海道に一隻の屋形船がある。

小樽の屋形船「かいよう」は第三埠頭から出港し、小樽港内をゆっくり遊覧します。外国船や巡視船、フェリーが接岸する埠頭に沿って、小樽港の機能や美しさを間近に知ることができます。また、長い防波堤沿いに潮風を感じながら、船上からベイサイドの眺めや町並みにせまるような天狗山の雄大さを楽しむことができます。

一方、防波堤の先には赤と白の灯台。小樽の昔と今を見つめてきたその姿は、繁栄の歴史を静かに物語っているようです。

屋形船の中には畳敷きの純和風つくり。高齢の方に優しい堀りこたつ席も10席ほど

あつて、ゆったりとした気持ちで普段と違う小樽の風景を眺めるのは格別な気分です。定期便のほか40人までの貸し切りも行っていきますので、家族や気の合う友人同士、同窓会など、港町小樽の美しい夕日やライトアップされた夜景を眺めながらの宴会を楽しんでみてはいかがでしょうか。

持参した料理をつまみながら、好みのお酒を口に浸せば、裕次郎の唄の一つも口ずさめます。

【乗船についてのお問合せ】
小樽観光振興公社
電話 2913131



いっしょにつくろ！

●揚げ鶏のねぎダレかけ丼

■材料(2人分)

- 鶏モモ肉 / 2枚
- 下味
- 日本酒 / 大さじ1
- しょうゆ / 大さじ1
- 片栗粉
- レタス / お好み量
- ねぎダレ
- しょうゆ / 大さじ3
- 砂糖 / 大さじ3
- 酢 / 大さじ3
- 細ねぎ / 1~2本
- お好みで赤唐辛子



■作り方

- ① 鶏肉に切れ目を入れ、下味に漬ける。
- ② 片栗粉をまぶして、表面がカリカリになるまで揚げる。一度軽く揚げ、しばらく置いて蒸らした後に再度揚げるとジューシー。
- ③ レタスを千切りにしてご飯にのせる。
- ④ 揚げた鶏肉を切り、レタスの上のせる。
- ⑤ タレをかけて出来上がり～！

男女共同参画推進講演会を開催

講演 『テレビリポーターというお仕事』

～出会いと気づきが宝物～

講師：石井 雅子さん(フリーパーソナリティ) 平成26年10月4日(90名参加、うち男性12名)

フリーパーソナリティの石井さんから、テレビリポーターという仕事を通じて、夢をかなえた体験談をお話していただきました。



「今、目の前のことに集中して、先の心配はしない」「必死に頑張るとなると人はひいてしまうので、自然体で力を抜いて、自分自身が楽しむことが大切」「いろいろなジャンルの仲間をつくと、わからないことを教えてもらったり、困ったときに助けてもらえる」など。

下積みで様々な苦勞をしてきたことで、明るくポジティブな生き方ができていることが分かり、元気をもらい、笑いのあふれた楽しい講演でした。

編集後記

昨年、読者からいただいたご意見を取り入れ、初めて表紙を情報スペースとして生かすことにいたしました。仕上がりはいかがでしたでしょうか。小樽で活躍されている方をお一人でも多くご紹介させていただくことができ、私たちは嬉しく思いました。

全体を通して、お忙しい中を快く取材に応じてくださいました皆様、ご協力ありがとうございました。

今回は身近な「気づき」をポイントとして取り上げました。

命の尊厳を脅かす暴力のない社会、男性も女性もお互いの個性を生かし合い、生活も仕事も補い助け合える社会を築いていくことを私たちは願いながら、様々な活動されている方々を今後もご紹介させていただきます。ネットワークと情報を広げていきたいと思えます。

また、読者の皆様のご意見、ご感想をお気軽にお寄せください。

(平沢)

「ばるねっと」に関する

ご意見・ご感想をお寄せください。

平成27(2015)年2月1日発行

■発行■

小樽市生活環境部男女共同参画課
〒047-0024 小樽市花園2丁目10番18号
TEL0134-22-5904 FAX0134-22-6081
Email:kyodo-sankaku@city.otaru.lg.jp

■企画・編集■

男女共同参画情報誌編集委員会
編集委員 / 平沢 則子・星 功
村津 七恵